

令和4年度第1回安曇野市生涯学習推進市民会議概要

1	審議会名	安曇野市生涯学習推進市民会議
2	日 時	令和4年6月17日(金) 午後1時30分から3時30分まで
3	会 場	安曇野市役所 大会議室
4	出席者	猿田みさ子委員(会長)、丸山明男委員(副会長)、高橋みち子委員、鳥羽將司委員、 赤羽敦子委員、荻原義重委員、筒井年恵委員、柿本豊委員、池田安宏委員、 伊藤政江委員、浅見郁子委員、三澤正彦委員
5	市側出席者	矢口教育部長、危機管理課小林担当係長、人権共生課財津課長、 地域づくり課金子担当係長、福祉課丸田担当係長、健康推進課細田副参事、 スポーツ推進課杉浦担当係長、文化課三澤課長補佐、文化課逸見担当係長、 文化課奈良澤課長補佐、子ども家庭支援課山岸係長 子ども家庭支援課遠藤係長、生涯学習課深澤課長、生涯学習課中村主査、 生涯学習課小笠原再任用職員
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和4年7月1日

協 議 事 項 等

会議概要

- 1 開 会 生涯学習課深澤課長
- 2 あいさつ 矢口教育部長
- 3 自己紹介
- 4 会長及び副会長の選出
- 5 協議事項
 - (1) 第2次安曇野市生涯学習推進計画について
 - (2) 第2次安曇野市生涯学習推進計画の中間見直しについて
 - (3) 第2次安曇野市生涯学習推進計画に係る令和3年度施策指標及び成果指標について
- 6 その他
- 7 閉 会 生涯学習課深澤課長

協議事項

- (1) 第2次安曇野市生涯学習推進計画について《生涯学習課深澤課長》
- (2) 第2次安曇野市生涯学習推進計画の中間見直しについて《生涯学習課深澤課長》

【委員】

コミュニティスクールを推進していることもあり、学校と地域の関係に触れることは必要と思っている。

生涯学習の中心は公民館であると認識している。長野県は誇れる公民館活動が歴史的にも行なわれており、公民館との関係を重要視していく必要があるのではないか。

ライフステージの区分けは見直しをできないか。

【事務局】

コミュニティスクールについては、現計画に施策として位置付けられている。また、今年度から教育委員会として事業が新たにスタートしている。いただいた意見を検討して取り組んで参りたい。

公民館は生涯学習の拠点として位置付けられている。改めて必要性を計画に盛り込んでいければと考えている。

ライフステージの区分けについて、設定背景をおさらいしながら、検討していきたい。

【委員】

改訂の視点としてSDGs(持続可能な開発目標)が挙げられているが、委員の人選もジェンダーフリー、男性女性比率が半分となっていて意識されている。

【委員】

計画13pの基本理念設定背景に「場所を問わず、性別、年齢、職業、言語、人種、思想、障がいの有無を問わず」という記載があるが、「安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり条例」第8条のように、人種ではなく国籍という表現の方が良いのではないか。

※条例第8条(抜粋)「何人も、年齢、性別等の違い又は国籍、民族等の異なる人々の文化的な違い、障

がいの有無等による不当な差別的取扱いをすることにより、他人の権利利益を侵害してはならない。」

【委員】

国籍という表現は、難民が引っかかってくる。人種という言葉も入れておいたほうが適当かもしれない。

【事務局】

ご意見として承る。

【委員】

安曇野市は地域性があり、例えば明科は高齢化が進み豊科で学習の機会があってもなかなか参加できない状況がある。5年・10年後の高齢化の実態にあった計画が作られることが望ましいと、日々の活動を通して感じている。

【事務局】

貴重な意見として承りたい。

【委員】

改訂の視点③「With/Afterコロナの時代とデジタル社会の進展」について、安曇野市におけるデジタル化のビジョンを改訂に反映させ、市民に示していかないといけないのではないか。

【事務局】

IT技術を利用し、ヒトやモノが結びついて、今まで行っていた生涯学習の活動に、コロナで弊害を受けていたものを取り返す、あるいはまったく新しいビジョンが繰り広げられる、そういったことも想定される。5年後のビジョンは日進月歩の技術で難しい部分もあるが、想定していきたい。

【委員】

教員の労働環境が厳しく、クラブ活動ができない問題が起きている。先生のOBなど、地域には技術をもっている方がたくさんおり、組織をつくってそのような人を学校に派遣するという考えはあるか。

【事務局】

堀金地域は、地域の指導者を休日の部活動等に派遣していると聞いている。明科・三郷地域は話し合いを設けており、豊科・穂高地域は今年度実証されていくと聞いている。

【委員】

生涯学習の捉え方は個々によって違う。多様性が求められている中で、生涯学習はどんなふうに取り入れていくか考えている。

【事務局】

計画改訂の論点となるのではないか。検討材料の一つとしていきたい。

【委員】

進まなかった事業を見直し、より多くの人に参加してもらえたら良い。

また、そのためにどうすればよいのか、意見を聞きながら進めてもらえれば。

【委員】

計画第3章のアンケート結果について、過去5年間で生涯学習に取り組んだことがある人は約44%に留まっている。市民などと連携・協働し計画を推進することとしているが、安曇野市としてどこに力をつけていかないと達成できないのか、明確にして進めていかないといけない。

【事務局】

公民館は、地域づくりの拠点である。地区公民館での学びと実践を通じて住民の自治意識が向上し地域が活性する。公民館活動で得られる地域の自治の力が区の運営に活かされる。区も公民館もより良い地域づくりを目指す点は一緒であり、市民生活部・教育部ともに共通認識としている。いただいた意見をもとに事務を進めていきたい。

(3)第2次安曇野市生涯学習推進計画に係る令和3年度施策指標及び成果指標について《各課から説明》

【委員】

施策項目「市民活動サポートセンターの充実」について、市民活動団体はどんな団体が登録されているのか。

【事務局】

幅広い団体に登録いただいている。登録団体は、市のHPへの掲載や市民活動サポートセンターの情報コーナーで冊子にして設置し、紹介している。

【委員】

シニアクラブは該当するか。

【事務局】

該当する団体の幅は広い、登録はできる。

【委員】

施策項目「防災啓発活動の支援」について、先日第16回安曇野市公民館大会で田中健一先生の講座を聴講し、知識を頭の片隅に置いておくことが、いざというときに役に立つという話を聞いた。啓蒙活動を盛んにしていくことが大事である。

施策項目「青少年体験事業の実施」について、講師の松本大の生徒さんがとても親しみやすかった。講座を受ける対象年齢に合わせた講師の選定がとても大事になる。

施策項目「地域文化祭の開催」について、発表して見てもらいたい、認めてもらいたいという気持ちは、本当に大事なこと。この活動を続けてほしい。

施策項目「施設連携事業の実施」について、学校ミュージアムの見学はとても良い機会だった。文化的なことを知る良い機会だったので、また検証してほしい。

【委員】

田中健一先生の講演は、市民にも呼びかけを行うことはできないか？

【事務局】

施策項目「防災啓発活動の支援」について、まずは職員向けの研修を行う予定である。

施策項目「青少年体験事業の実施」について、好評なためこれからも続けていきたい。

施策項目「地域文化祭の開催」について、今後も継続していく予定である。

施策項目「施設連携事業の実施」について、11月に豊科南中学校と堀金小学校を予定している。

【委員】

推進計画の上位計画として、教育大綱がある。生涯学習に重きを置き、進めてもらいたい。

施策項目「人権に関する講座の開催」について、集まれなくても人権学習を行うところには、補助を出してもらえればありがたい。

施策項目「公民館報の発行」について、安曇野市議会だよりなどと比べるとお金のかけ方が違う。カラー写真を多くするとか、予算確保をしていただければ。

先日三郷中で行われたパネル展示について、生徒たちは熱心に鑑賞していた。

【事務局】

教育大綱について、令和5年度改正を予定している。意見を参考に改訂作業を進めていきたい。

施策項目「人権に関する講座の開催」について、補助対象事業を精査の上、該当事業について広報等で周知したい。

施策項目「公民館報の発行」について、公民館報は年4回発行し、見開き4ページで構成されている。編集会議のなかでいただいた意見を申し上げ、検討していきたい。

パネル展示について、平和憲法を生かす安曇野の会という市民団体があり、毎年本庁舎で原爆の関係を20年くらい展示してきた。昨年度から市内中学校においても、パネル展示を行っている。

【委員】

コロナ禍で事業が行われていることに感謝している。

施策項目「図書館ボランティアの主体的な活動」について、施策指標の図書館サポーター登録数は目標に達していないが、登録があったことは評価されてもよいのではないか。